

ネットとゲームのルールを

家族で

つくってみよう!

たとえば
こんなルール



場所

- 子ども部屋に持ち込まない
- 充電はリビングで
- ゲーム機を外に持ち出さない

時間

- ネット・ゲームは一日〇時間まで
- 夜〇時から朝〇時まででは使用しない
- 勉強中、食事中、入浴中は使用しない

他にも

- ネット・ゲームはやるべきことをやってから
- 他人が作成した絵や写真を勝手にコピーしない
- 迷ったり困った時はすぐに大人に相談

課金

- 利用金額はお小遣いの範囲
- プリペイドカードを利用する

危険

- 面と向かって言えないことは投稿しない
- 自分や友人が特定される写真や個人情報を載せない
- 保護者に知らせずにSNSで知り合った人と会わない

アプリ

- スマホのゲームは2つまで
- 使っているアプリを報告する

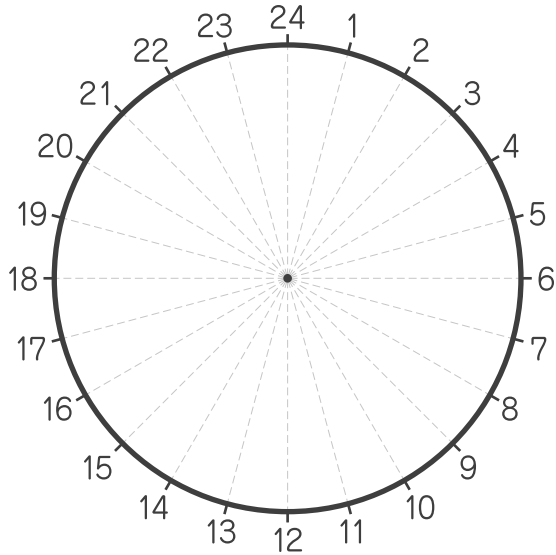
守れなかったら

- 〇日間スマホを親に預ける
- 利用時間や月々のデータ容量を制限
- 3回ルールを守れなかったらスマホを解約
- 家族会議を開いて、新しいルールを考える

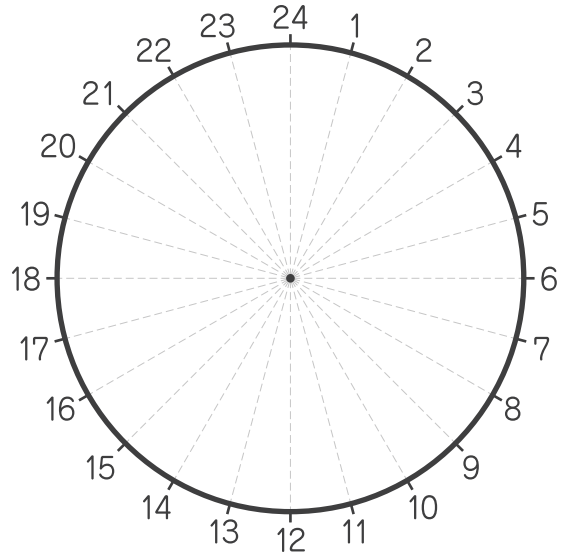
の1日のスケジュール

年 月 日

平日



休日・長期休暇等



のルール

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

守れなかったら

インターネットとの上手なつきあい方を家族で話し合って、 「わが家のルール」をつくりましょう。

こんな
ことが発生
しています



ゲームの時間を自分でコントロールできず、日常生活に影響が出る



ネットでのケンカやいじめ、高額な課金などの「ネットトラブル」に巻き込まれる



ネットとゲームの
つきあい方・ルールづくり

3つのポイント



1 家族で話し合う

必ず子どもと保護者で話し合い、お互いに納得したルールを作りましょう。

2 定期的に見直す

子どもを取り巻く環境の変化に応じて、定期的に見直しましょう。

3 制限できるツールを活用する

危険なサイトやアプリをブロックしたり、ネットの利用時間を制限できる「ペアレンタルコントロール」を上手に活用しましょう。

ルールづくりは、親子の意見のすり合わせです。子どもの意見を聞き、親の思いも伝えると、必ず妥協点が見つかります。それをルール化しましょう。また、ルールはつくりっぱなしにせず、定期的に見直すことが必要です。ネットをめぐる対立するのではなく、ネットをきっかけにコミュニケーションをする意識を持つことが大切です。



竹内 和雄
兵庫県立大学
環境人間学部准教授

詳しくは兵庫県のホームページで

- ▶ 身近に起こるネットトラブル事例
- ▶ ペアレンタルコントロールとは？
- ▶ インターネット依存度テスト
- ▶ ルールの例 など



こちらのQRコードからもホームページをご覧ください。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk16/net_rule_point.html